

# MetaMoJi Classroom に Microsoft アカウントでログインする

シングルサインオンの利用

---

第 12 版

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Apple、iPad は、Apple Inc.の商標です。
- Microsoft、Excel、Internet Explorer および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Chromebook、Android、Google、Google Drive、Google Play は Google Inc.の商標または登録商標です。
- Apache、OpenOffice、Apache OpenOffice は Apache Software Foundation の商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoJi が作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社 MetaMoJi に帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

# 目次

<b>1. Microsoft 365 Education の情報を取り込む .....</b>	<b>3</b>
1.1. MetaMoJi ClassRoom の利用状況を確認する.....	3
1.1.1. MetaMoJi ClassRoom を初めてご利用いただく場合.....	3
1.1.2. すでに MetaMoJi ClassRoom をご利用中の場合.....	3
1.1.2.1. すでに「Microsoft でログイン」をご利用中の場合 .....	3
1.1.2.2. まだ「Microsoft でログイン」をご利用でない場合 .....	3
1.2. Microsoft 365 Education の情報を手動で登録する .....	5
1.3. Microsoft 365 Education の情報を自動で取り込む .....	6
1.3.1. Web 管理ツールで準備する.....	6
1.3.1.1. Web 管理ツールにログインする .....	6
1.3.1.2. Microsoft アカウント設定情報をコピーする.....	7
1.3.2. Microsoft Entra 管理センターで設定する.....	8
1.3.2.1. Microsoft Entra 管理センターへログインする .....	8
1.3.2.2. アプリを登録する.....	8
1.3.2.3. クライアントシークレットを登録する .....	10
1.3.2.4. API のアクセス許可を登録する .....	12
1.3.3. Web 管理ツールで Microsoft アカウントを取り込む.....	14
1.3.3.1. Web 管理ツールで OAuth 認証情報を登録する.....	14
1.3.3.2. Microsoft アカウントを取り込む .....	15
<b>2. MetaMoJi ClassRoom に Microsoft アカウントでログインする .....</b>	<b>17</b>

# 1. Microsoft 365 Education の情報を取り込む

「Microsoftでログイン」を利用するためには、Microsoft 365 Educationに登録されている情報を、あらかじめMetaMoji ClassRoomに取り込んでおく必要があります。

## 1.1. MetaMoji ClassRoom の利用状況を確認する

MetaMoji ClassRoomの利用状況により操作手順が異なりますのでご確認ください。

### 1.1.1. MetaMoji ClassRoom を初めてご利用いただく場合

[1.3. Microsoft 365 Educationの情報を自動で取り込む \(P.6\)](#)に進みます。

- ① ユーザー情報を手動で登録することもできます。  
→[1.2. Microsoft 365 Educationの情報を手動で登録する \(P.5\)](#)

### 1.1.2. すでに MetaMoji ClassRoom をご利用中の場合

#### 1.1.2.1. すでに「Microsoft でログイン」をご利用中の場合

新しいユーザーやクラス分けを取り込むには、[1.3. Microsoft 365 Educationの情報を自動で取り込む \(P.6\)](#)に進みます。

#### 1.1.2.2. まだ「Microsoft でログイン」をご利用でない場合

MetaMoji ClassRoomの「ユーザーID」が「Microsoftのメールアドレス」ではない場合、そのままMicrosoft 365 Educationの情報を取り込むと、既存のアカウントとは別にアカウントが追加されるため、同じユーザーのアカウントが重複してしまいます。

アカウントの重複を防ぐため、あらかじめ次の手順でMetaMoji ClassRoomの「ユーザーID」を「Microsoftのメールアドレス」に変更しておきます。

#### ユーザーID の変更の前に

あらかじめすべての端末のMetaMoji ClassRoomからログアウトします。

## Web 管理ツールでユーザーID を変更する

以下の手順で、既存ユーザーの「ユーザーID」を「Microsoftのメールアドレス」に変更します。

- ① Web 管理ツールにログインし (P.6)、[ユーザー登録・年度更新] の [ユーザー・クラス管理] を選びます。
- ② [ユーザー・クラス管理 (新方式)] の [ユーザー一括登録] を選びます。
- ③ [Excel 形式ダウンロード] を押してダウンロードします。
- ④ ダウンロードした Excel 形式ファイルを開き、「変更後ユーザーID」列に「Microsoft のメールアドレス」を入力し、保存します。

ユーザーID	ユーザー名	パスワード	先生なら1	管理者なら1	変更後ユーザーID	削除なら1
r001	玉置海斗		0	0	kaito.tamaki@***.jp	
r002	杉森大和		0	0	daiti.sugimori@***.jp	
r003	吉川翔		0	1	sho.yoshikawa@***.jp	
r004	伊藤美		0	0	aoi.ito@***.jp	
r005	岩田翔太		0	0	syota.iwata@***.jp	

- ❶ 「パスワード」を変更する必要はありません。

- ⑤ Excel ファイルをアップロードし、確認します。

## Microsoft 365 Education の情報を取り込む

続けて新しいユーザーやクラス分けを取り込むには、[1.3. Microsoft 365 Education の情報を自動で取り込む \(P.6\)](#) に進みます。

## 新しいログイン方法を知らせる・QR コードを再配布する

各ユーザーは、Microsoft アカウントを利用して「Microsoft でログイン」が利用できるようになります。

引き続き「QR コードでログイン」することも可能です。その場合は、新しい QR コードを配布しなおしてください。

各ユーザーに MetaMoj ClassRoom にログインしなおしてもらいます。

## 1.2. Microsoft 365 Education の情報を手動で登録する

MetaMoj Classroomの「ユーザーID」として「Microsoftのメールアドレス」設定すると、MetaMoj Classroomに「Microsoftでログイン」できるようになります。

- ① Web 管理ツールにログインし (P.6) 、 [ユーザー登録・年度更新] の [ユーザー・クラス管理] を選びます。
- ② [ユーザー・クラス管理 (新方式)] の [ユーザー一括登録] を選びます。
- ③ [Excel 形式ダウンロード] を押してダウンロードします。
- ④ ダウンロードした Excel 形式ファイルを開き、以下のように登録し、保存します。

ユーザーID	ユーザー名	パスワード	先生なら1	管理者なら1	変更後ユーザーID	削除なら1
kaito.tamaki@***.jp	玉置海斗		12345678 0	0		
daiti.sugimori@***.jp	杉森大和		12345678 0	0		
sho.yoshikawa@***.jp	吉川翔		12345678 0	0		
aoi.ito@***.jp	伊藤葵		12345678 0	0		
syota.iwata@***.jp	岩田翔太		12345678 0	0		

列	内容
ユーザーID	<b>Microsoftのメールアドレスを設定します。</b>
ユーザー名	任意の表示名を入力します。 ① Microsoftアカウントと同じ表示名にしておくとうわりやすくなります。
パスワード	任意のパスワードを設定します。 ① Microsoftアカウントと同じパスワードにする必要はありません。
その他の列	「ユーザー登録・年度更新ガイド」に記載されている内容にしたがって必要な項目を入力します。

- ⑤ Excel ファイルをアップロードし、確認します。

詳しい操作方法は、ユーザー登録・年度更新ガイドの[2.3.1. Excel 形式ファイルでユーザーを一括登録する](#)をご参照ください。

ユーザー登録・年度更新ガイド：



## 1.3. Microsoft 365 Education の情報を自動で取り込む

### 1.3.1 Web 管理ツールで準備する (P.6)

### 1.3.2 Microsoft Entra 管理センターで設定する (P.8)

### 1.3.3 Web 管理ツールで Microsoft アカウントを取り込む (P.14)

## 1.3.1. Web 管理ツールで準備する

### 1.3.1.1 Web 管理ツールにログインする (P.6)

### 1.3.1.2 Microsoft アカウント設定情報をコピーする (P.7)

#### 1.3.1.1.1. Web 管理ツールにログインする

①パソコンで Web ブラウザを開き、以下の URL を入力します。

<https://mps.metamoji.com/admintool>

① 次のQRコードからWeb管理ツールにアクセスすることもできます。



① オンプレミス版の場合

<http://server.com/admintool/>

<http://server.com>は、お客様のMetaMojiサーバーのサーバーURLに変更してください。

②ログイン画面が表示されるので、次の情報を入力します。

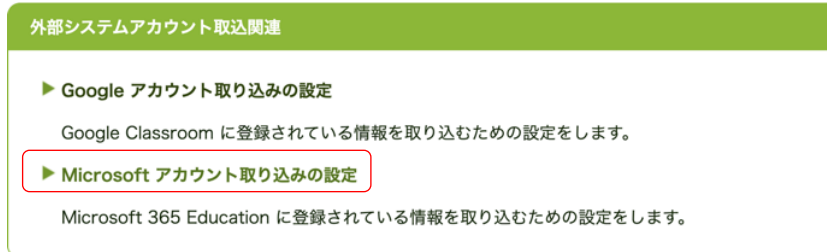


- 学校ID
- 管理者ユーザーのユーザーID
- 管理者ユーザーのパスワード

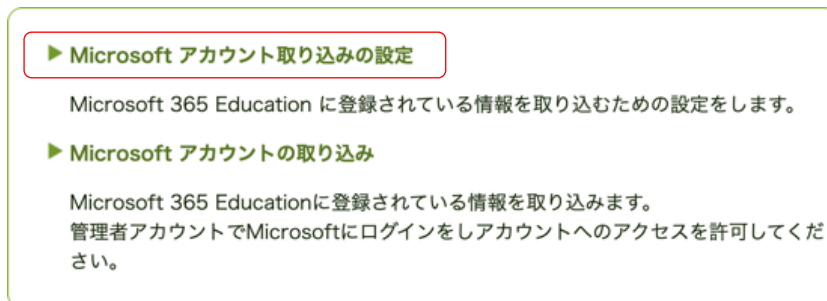
③ [ログイン] を押し、Web 管理ツールにログインします。

### 1.3.1.2. Microsoft アカウント設定情報をコピーする

- ① Web 管理ツールの [外部システムアカウント取込関連] の [Microsoft アカウント取り込みの設定] を選びます。



- ② [Microsoft アカウント取り込みの設定] を選びます。



- ③ [Microsoft 365 アカウント設定情報] タブを押し、[プロジェクト名] [クライアントシークレット] [リダイレクト URI] をコピーします。



## 1.3.2. Microsoft Entra 管理センターで設定する

### 1.3.2.1 Microsoft Entra 管理センターへログインする (P.8)

### 1.3.2.2 アプリを登録する (P.8)

### 1.3.2.3 クライアントシークレットを登録する (P.10)

### 1.3.2.4 API のアクセス許可を登録する (P.12)

#### 1.3.2.1. Microsoft Entra 管理センターへログインする

①管理者権限のあるアカウントで Microsoft Entra 管理センターへログインします。

<https://entra.microsoft.com/>

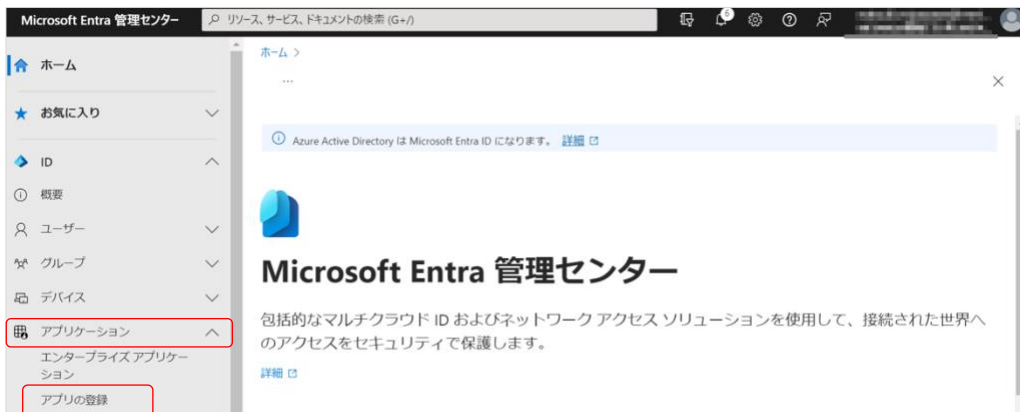
- ① 管理者権限があるユーザーを確認・追加する方法は、Microsoft Entra管理センターのマニュアルなどでご確認ください。

#### 1.3.2.2. アプリを登録する

① [ID] を押します。



② [アプリケーション] - [アプリの登録] を押します。





③ [+ 新規登録] を押します。



④各項目を設定し、[登録] を押します。

ホーム > MetaMoji開発テスト用 | アプリの登録 >

### アプリケーションの登録

\* 名前  
このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)。

MetaMoji

サポートされているアカウントの種類  
このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのはどれですか?

この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (MetaMoji開発テスト用のみ - シングル テナント)

任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)

任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype、Xbox など)

個人用 Microsoft アカウントのみ

リダイレクト URI (省略可能)  
ユーザー認証が成功すると、この URI に認証応答を返します。この時点での指定は省略可能で、後ほど変更できますが、ほとんどの認証シナリオで値が必要となります。

Web | https://mps.metamoji.com/mmjeditor2/MicrosoftEducationSyncSer...

作業に使用しているアプリをこちらで登録します。ギャラリー アプリと組織外の他のアプリを [エンタープライズ アプリケーション] から追加して統合します。

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります。

**登録**


名前	1.3.1.2 Microsoftアカウント設定情報をコピーする (P.7) の操作③でコピーした [プロジェクト名 (MetaMoji)] を入力します。
サポートされているアカウントの種類	[任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意のMicrosoft Entra ID ディレクトリ-マルチテナント)と個人のMicrosoftアカウント (Skype、Xboxなど)] を選択します。
リダイレクトURI	1.3.1.2 Microsoftアカウント設定情報をコピーする (P.7) の操作③でコピーした [リダイレクトURI] を入力します。

正しく登録されると、アプリケーションが作成されたことが画面右上に通知されます。



⑤ [アプリケーション (クライアント) ID] をコピーします。



カーソルを合わせると表示される右端の  を押すとコピーできます。

### 1.3.2.3. クライアントシークレットを登録する

① [証明書とシークレット] を押します。



② [+ 新しいクライアントシークレット] を押します。



③各項目を設定し、[追加] を押します。




説明	<a href="#">1.3.1.2 Microsoft アカウント 設定情報をコピーする (P.7)</a> の操作③でコピーした [クライアントシークレット (MetaMoj)] を入力します。
有効期限	最長の [730 日 (24ヶ月)] を選択します。

正しく登録されると、アプリケーションが作成されたことが画面右上に通知されます。



④ [クライアントシークレット] で、値をコピーします。



カーソルを合わせると表示される右端の  を押すとコピーできます。

**注意：** クライアントシークレットの値をコピーできるのは初回だけです

ページを離れると 4 文字目以降が暗号化されてしまうので、初回にコピーしてください。

### 1.3.2.4. API のアクセス許可を登録する

① [API のアクセス許可] を押します。



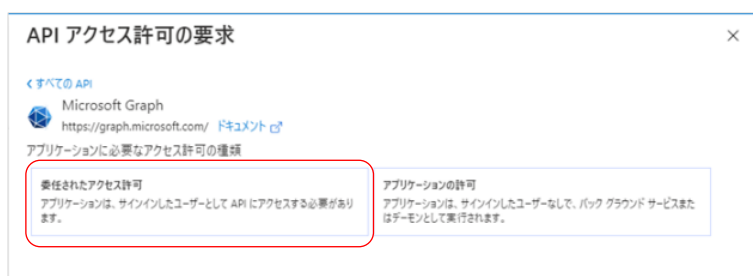
② [+ アクセス許可の追加] を押します。



③ 右側に表示された [API アクセス許可の要求] の画面で、[Microsoft Graph] を押します。



④ [委任されたアクセスを許可] を押します。



- ⑤ [EduRoster] を選び、 [EduRoster.Read] をオンにします。

### API アクセス許可の要求

< すべて API

- > DelegatedPermissionGrant
- > Device
- > DeviceManagementApps
- > DeviceManagementConfiguration
- > DeviceManagementManagedDevices
- > DeviceManagementRBAC
- > DeviceManagementServiceConfig
- > Directory
- > Domain
- > EAS
- > EduAdministration
- > EduAssignments
- > **EduRoster (1)**
- EduRoster.Read  
 Read users' view of the roster
- EduRoster.ReadBasic  
 Read a limited subset of users' view of the roster
- EduRoster.ReadWrite  
 Read and write users' view of the roster
- > EntitlementManagement
- > EWS
- > ExternalItem
- > Family
- > Files
- > Financials

アクセス許可の追加
破棄

- ⑥ [アクセス許可の追加] を押します。

- ⑦ 登録されたアクセス許可が表示されていることを確認します。

ダッシュボード > 株式会社MetaMoj | API の登録 >

### MetaMoj | API のアクセス許可

検索 (Ctrl+F)

- 概要
- リンク スタート
- 統合アシスタント (レビュー)
- 管理
- ブランド
- 拡張
- 証明書とリンクレット
- !!! トレーニング
- API のアクセス許可
- API の公開
- 診断

API / アクセス許可の追加

API / アクセス許可の名前	権限	説明	管理者の同意が必要	状態
Microsoft Graph (2)				
EduRoster.Read	委任済み	Read users' view of the roster	はい	▲ 株式会社MetaMoj 向け
User.Read	委任済み	Sign in and read user profile	-	▲

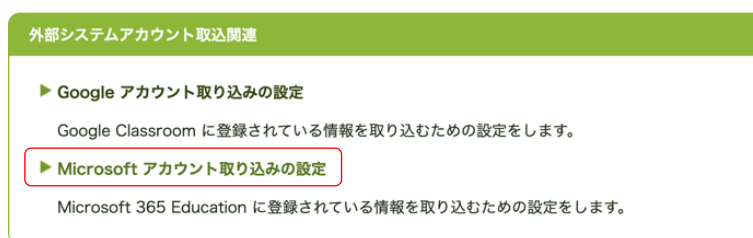
### 1.3.3. Web 管理ツールで Microsoft アカウントを取り込む

#### 1.3.3.1 Web 管理ツールで OAuth 認証情報を登録する (P.14)

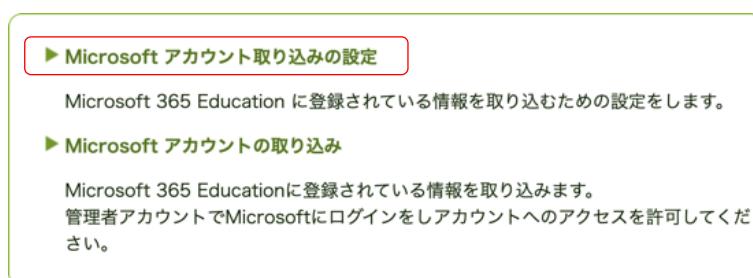
#### 1.3.3.2 Microsoft アカウントを取り込む (P.15)

##### 1.3.3.1. Web 管理ツールで OAuth 認証情報を登録する

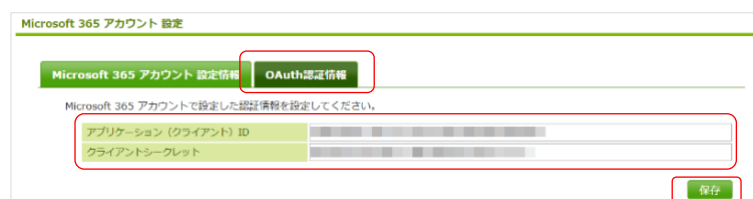
- ① Web 管理ツールにログインし (P.6) 、 [外部システムアカウント取込関連] の [Microsoft アカウント取り込みの設定] を選びます。



- ② [Microsoft アカウント取り込みの設定] を選びます。



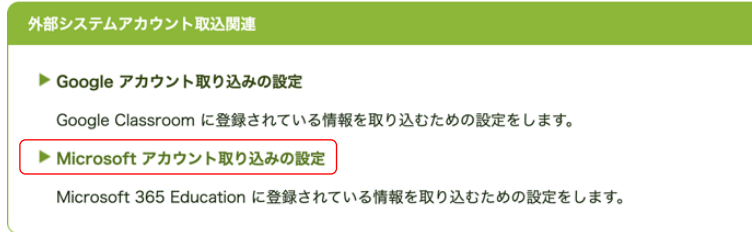
- ③ [OAuth 認証情報] タブを押します。



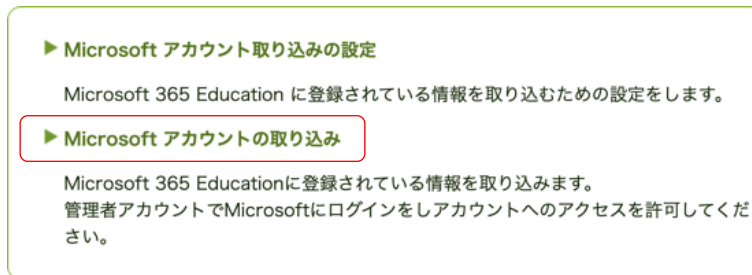
- ④ [アプリケーション (クライアント ID)] に、[1.3.2.2 アプリを登録する \(P.8\)](#) の⑤でコピーした値を貼り付けます。
- ⑤ [クライアントシークレット] に、[1.3.2.3 クライアントシークレットを登録する \(P.10\)](#) の④でコピーした値を貼り付けます。
- ⑥ [保存] を押します。

### 1.3.3.2. Microsoft アカウントを取り込む

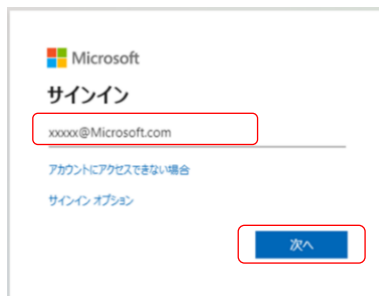
- ① Web 管理ツールの [外部システムアカウント取込関連] の [Microsoft アカウント取り込みの設定] を選びます。



- ② [Microsoft アカウント取り込み] を選びます。



- ③ 管理者権限のあるアカウントを入力し、[次へ] を押します。



- ④ アクセス許可の画面が表示された場合は、[承諾] を押します。



⑤各項目を設定します。

取り込み先年度	▼を押して取り込み年度を選びます。
取り込み元を選択	[選択] を押して取り込み対象の組織を選びます。
取り込み対象データ	取り込み対象にするデータをオンにします。 ① 2024年2月より、Microsoft Teamsでアーカイブされたクラスの情報は、取り込みの対象外となりました。アーカイブの操作方法は、Microsoft Teamsのマニュアルなどでご確認ください。
先生の判定	先生と判定する条件をオンにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● グループの所有者を先生とみなす 取得したクラスの所有者のユーザーを先生とみなします。</li> <li>● 特定のグループに所属しているユーザーを先生とみなす 右端の▼を押して表示される一覧から選んだグループに所属しているユーザーを先生とみなします。</li> <li>● 特定の役職のユーザーを先生とみなす 入力した役職と、Microsoft Entra IDでユーザーを登録するときに設定した「役職」が完全一致するユーザーを先生とみなします。</li> </ul>

⑥ [取込確認] を押して、取り込み内容を確認します。

- ① [確認をスキップして取り込み] を押し、確認作業をしないで取り込むこともできます。

⑦ [取込開始] を押します。

取り込みが開始されます。



## 2. MetaMoJi Classroom に Microsoft アカウントでログインする

- ① MetaMoJi Classroom のログイン画面で [Microsoft でログイン] を押します。



- ② Microsoft にログインできる電子メールアドレスまたは電話番号を入力して、[次へ] を押します。



- ③ [パスワード] を入力して [サインイン] を押します。



- ④ 「サインインの状態を維持しますか?」と表示されるので「はい」を選びます。MetaMoJi Classroom にログインします。